

臭素酸カリウムに係る対応について（案）

前回の検討会において、第1類の燃焼試験の標準物質である「臭素酸カリウム」が発がん性を疑われていることから、将来的に国連勧告から削除される予定であることを議題として取り上げた。前回の議題を踏まえ、今後の対応等について検討する。

1 課題

発がん性が疑われることから、国連勧告では将来的に臭素酸カリウムを標準物質から削除される予定である。また、これに伴い、当該物質の入手困難性も予想されることから、試験方法の検証を含め、燃焼試験の代替物質を検討する必要がある。

2 対応

(1) 代替物質候補の選定

臭素酸カリウムと同程度の酸化力をもつ物質で毒劇物に指定されていないものについて、候補物質を検討する。

(2) 代替物質候補の酸化力等比較調査

候補物質として取り上げた物質を実際に酸化力等の比較試験を実施する。

(3) 試験方法の検証

上記(2)及び国連勧告との比較等を踏まえ、燃焼試験方法について再検証する。

3 今後のスケジュール

年度	対応
2019年度	代替物質候補の選定、代替物質候補2物質調査
2020年度	代替物質候補2物質調査、試験方法の検証